

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

ひがしっ子 6月

2021



園長コラム

先日の保育参観、たくさんのご参加ありがとうございます。授業参観と違って見ているだけではなく、参加会といった趣きの東園の保育参観。去年は実施を見送ったので、今年は本当に良かったです。これからも子ども達の東園での日常を感じられる行事を心がけていきますので、楽しんで参加してください。

行事も本格的になってくるということは、子ども達の日常も本格的になってくるということでもあります。保育者との信頼関係を基礎に、その年齢なりの活動の幅が広がっていきます。

抱っこばかりだったのが、ハイハイで離れだすように、徐々に体と心の行動範囲を広げていくのが成長の証とも言えます。そういう経験を少しずつ増やして行って、いずれはどんなに離れていても心はどこかで通じ合っている安心感や自信を手に入れていくのが、大人になるということだと思っています。

その基礎は、家族や友達、保育者などの身近な人たちから始まります。いずれは訪れる子離れ、親離れをいい意味で迎えられるように、今しかできない親子の時間を沢山積み上げて行って欲しいと思います。東園の行事がその一つになってくれたら大変嬉しいです。

0～2歳児クラスの1か月

すごいでしょ

農園にいくと、子ども達のキャッキヤとした声が響いていました。声のする方に吸い寄せられるように歩いていくと、自分の背丈くらいある玉ねぎを持った子ども達の姿。すみれ組になるとこういった体験も徐々に増えてきます。散歩で眺めるだけでなく、自分でやって輝くような笑顔の子ども達に見ているほうも嬉しくなります。



ひとりじめ

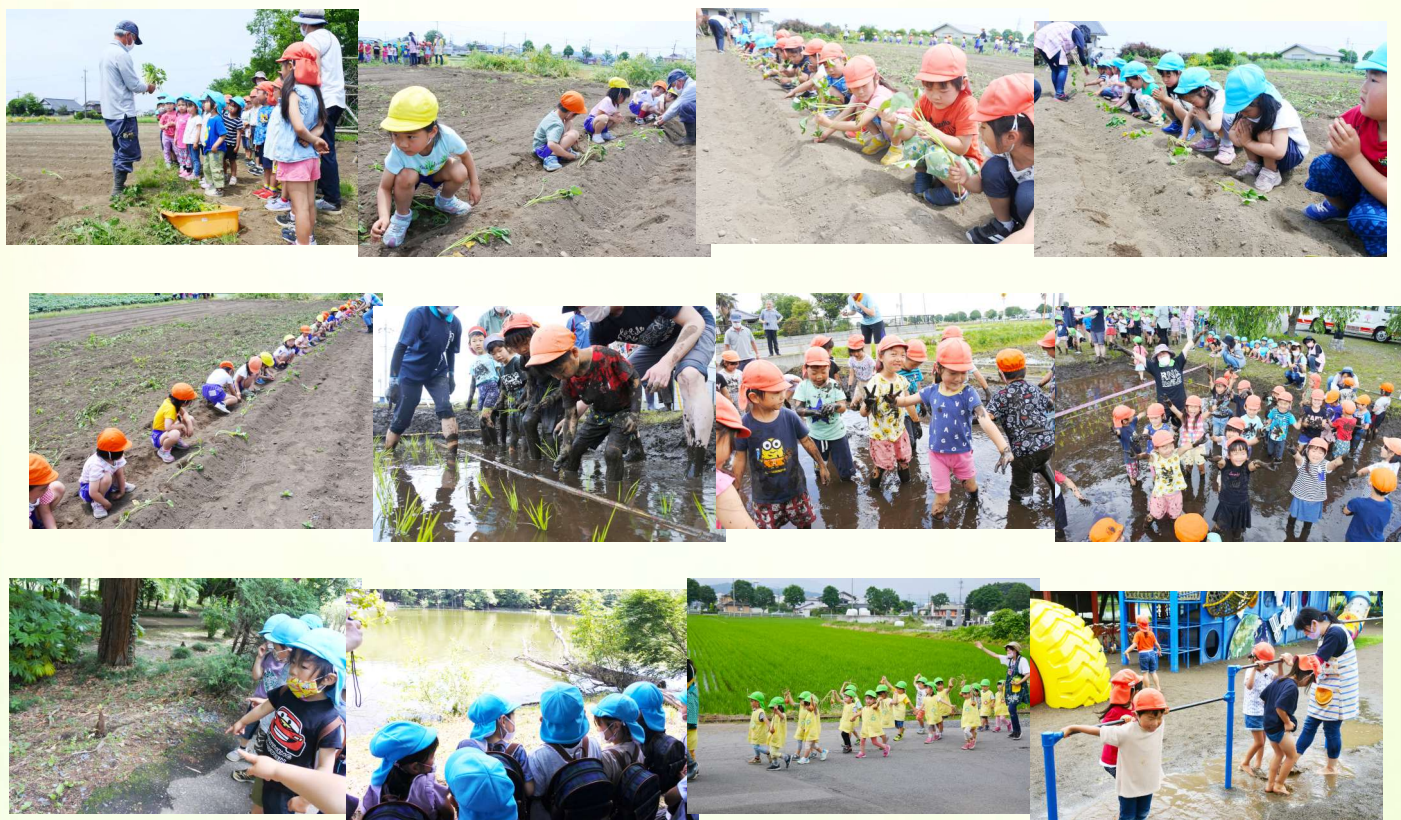
この時期は天気に悪い日も多くなるので、室内で楽しく遊ぶ姿も沢山見られました。各クラスで和気あいあいと、ホールで大きく走り回ってと、保育者に安心しきって遊んでいる姿に嬉しくなります。そんな中でも、大好きな保育者にギュッとしがみついていたかと思うと、走り出して見て見てと振り返る姿が沢山見られ、大好き！という気持ちから人の育ちは始まっていくんだなぁと改めて感じられました。



3～5歳児クラスの1か月

なぜか楽しい

どうして子供は水たまりに飛び込むんでしょうね。自分も子供のころは率先して入っていた人なので偉そうなことは言えませんが、何だか知らないけど楽しいんですよね。皆さんも楽しかった記憶があると思います。泥んこやプールも一緒なのでしょう。沢山体験して、その記憶を抱えて大人になって行って欲しいと思っています。



奥日光ハイキング

今年も年長さんが行ってきました。

目でみて、音をきいて、匂いをかいで、その場でしか感じられない経験を沢山してくれてようです。その感覚の記憶がこども達の心に残ってほしいと思っています。



真剣なまなざし

天気が悪い日も多く、室内での遊びも充実したものになるように各保育者が工夫を凝らしていました。基本は「作って遊ぶ」です。作って食べるのと同じで、自分でやったことには思い入れが生まれ、集中力や創意工夫が生まれます。

大人の視点では変なことだったとしても、その子にとっては楽しく、真剣な表情で遊んでいる姿が私は大好きで、東園全体にそんな姿が生まれるように心がけています。

